



**静岡
陸協
会報**

第 4 号 (2008年 3月23日発行)

静岡陸上競技協会
〒420-8508
静岡市葵区鷹匠1-1-1
新静岡センター 6 F
TEL・FAX 054-253-9801

精進と克服

会長 斉藤斗志二

佐野前静岡県体育協会会長が私に国体選手団長を譲られた時、「静岡県の各累計の総合力は全国第八位であるから国体の総合成績の目標も八位におきたい」と話されました。

本年度の秋田国体は、天皇杯では十五位(昨年二十一)、皇后杯は十六位(昨年二十四位)でした。その成績を上げた起因は「陸上競技の成績」であったので私は会長として大変嬉しく思いました。

入賞目標の八位に届きませんでしたが一歩前進であったので本年度国体解団式・顕彰式後の懇親会を開催することができました。

陸上競技天皇杯は第二位(一〇五・五)、皇后杯は第三位(五十五点)であり、特に優勝の池田久美子(成年女子走幅跳)・笹瀬弘樹(少年男子A棒高跳)・飯塚翔太(少年男子B二百斤)の三人には心から祝意を表する次第です。

昭和六年(一九三一年)第六回明治神

第 4 号 (2008年 3月23日発行)

静岡陸上競技協会

〒420-8508

静岡市葵区鷹匠1-1-1

新静岡センター 6 F

TEL・FAX 054-253-9801

宮体育大会で織田幹雄選手が三段跳で15m58の世界新記録をだし、その後走幅跳で南部忠平選手が7m98の世界新記録を樹立し、「君が代」の合唱が二度も競技場内に流れ、湧きに湧いた一日でした。この昭和初期の二人の名選手の所信としていた言葉が次の言葉です。織田選手は「精進」・南部選手は「克服」でした。

私が、この二人のことに触れたのは、平成十五年の第二順目の静岡国体以後の天皇杯順位十三位、十九位、二十一、と低下を続けたのを食い止めたのは、各競技団体特に陸上競技協会の亀山理事長を始め新聞強化委員長等関係者の「精進・克服」によるものであると信じるからです。

この原稿を書いている時に京都の高校駅伝の放送があり、入賞府県で本県より人口の少ないのは長野・岡山・熊本・青森・鹿児島・高知・宮崎等でした。人口の少ない府県は高校生も少ないはずで、その条件下での活躍には驚きと敬意を表したいものです。

男子の本県代表浜松日体高校と十位校

との差は3分14秒で、一人が約28秒縮めればよいのです。女子の常葉菊川高校と十位校との差は2分8秒で、一人が約26秒のクリヤーで入賞に近付くのです。その差を縮めるには大変でしょうが、計画的努力と先進地にての研修等で達成できると思います。

先の全国中学駅伝での御殿場富士岡中女子の優勝からして、長距離の苗場は他県に比べ劣ると思えません。したがって、協会あげて先進地高校の実状を研究することにより、私達の将来に明るい前進が期待できましょう。

石川知事がある時「スポーツ王国静岡」と発言しておられたが、かつての時代に戻るにはそんなに時間を必要としないでしょう。陸上競技協会が先頭になって他競技団体を牽引してくれることを特に期待いたします。その基盤は弛みない「精進・克服」です。

平成十九年度静岡陸上競技協会活動報告(実り多き一年)

理事長 亀山敏郎

この一年間の活動報告を申し上げます。対外的には、地域大会以上については、静岡国際陸上を四月三十日に、中日浜松カーニバルを十一月に、東海高校陸上競技大会を六月エコパで、東海高校駅伝競走大会を浜岡町で開催しました。各大会とも無事盛況裡に終了しました。県内大会では、競技会は、県選手権、静岡リレーカーニバル、各団体予選会、高校、中学、小学校、クラブ等、各大会を開催し無事終了しております。またマラソン、駅伝大会も、駿府・日本平・浜名湖、市町

村対抗・富士山クロスカントリー大会、浜名湖一周駅伝等いずれも成功裡に終了しております。総会は年一回、理事会は三回、新たに常任理事、専門委員長会議を年六回開催し表彰委員会も開催し組織の連絡を密にしたと思っております。審判員で多い方は、年間三十五回以上の出席をされており一年をとおして、そのご労苦は、大変なものがあると考えます。各委員会所属の委員の方たちも大会運営、プログラム作成・準備、選手強化・普及活動等、審判員にとらぬ大変な仕事をこなして頂きました。誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

強化、普及面では、全国高校総体で浜松市立高校男子が、高校男子棒高跳で笹瀬君の5m41の全国高校新記録を筆頭に、千六百リレーで優勝、他の選手の活躍もありチーム優勝に輝き、富士見高校の女子短距離陣、男子四百斤、四百斤障害など上位にくいこみ、跳躍投擲も男子三段跳、走高跳、女子砲丸投等に活躍がみられました。

兵庫国体では、天皇杯十位、皇后杯六位でありましたが、本年の秋田国体では天皇杯二位、皇后杯三位となりおおいに『陸上静岡』の面目を施すことができました。各選手が力を発揮して健闘してくれたと考えます。とくに高校男子棒高跳の笹瀬君の大会二連勝と女子走幅跳の池田さん、高校男子B二百斤の藤枝明誠高校の飯塚君の優勝もあり、その他にも成年女子砲丸投、成年男子棒高跳の二位、三位に高校男子四百斤障害、高校男子走高跳、女子棒高跳など大活躍でありました。とくに全国高校大会で負けた選手が

団体では、高校男子A百、女子四百のように入賞したことは嬉しい事でした。全国小学校交流大会では、本県小学生選手が、女子八十、障害と、五年女子百、女子五・六年四百リレーに優勝と近年最大の優勝を見ております。これは、普及の少年団・クラブの指導者の長年の熱意があらわれたものと喜んでおります。中学生のレベルは、全国中学大会で男子四百に小栗君が、同じく棒高跳に小林君が優勝をかざり、中学駅伝では御殿場富士岡中学女子チームが全国優勝と素晴らしい頑張りでした。高校生は、昨年にくらべ一段と成績が、東海・全国を通して向上しております。種目的に問題のある点や、選手層の薄さはこれからの課題であり、いずれにしてもこれからも指導者の養成、内容の充実を計らねばなりません。

その意味では県陸協の投擲部門の普及強化の一環として、本年一月二十六日(土)にエコバ投擲場において選手、指導者二十九名による、ハンマー投の講習会を、強化委員の吉田健一コーチにより開催しました。午前午後に亘り懇切丁寧な指導をうけ大好評でした。次回は三月十五日を予定し円盤投を中心の講習会とすることで、大いに期待しています。

世界選手権大阪大会には、県内より若い中高校生を三十名招待し本場の世界陸上を観戦してもらいました。提出された感想文によると、表彰のシーンをふくめ世界の競技会に感激したとあります。若いアスリートが、これを機会に世界をめざしていくことを期待しております。棒高跳部会には、昨年に引き続き中学生を

中心に指導者がいて、一定の記録をだし選手にボールを貸与してその振興につとめております。本年は日本棒高跳の上位六位に三人の静岡県選手が入り喜んでおります。

第八回となりました静岡県市町村対抗駅伝は十二月、四十二市町四十六チームの参加を得て、今年も盛大に開催され、駅伝シーズンの先駆けとして県下に定着してまいりました。今年も新生浜松市中央と新居町がそれぞれ初優勝いたしました。また新たに小学生女子の区間をとりいれ好評でありました。都道府県対抗駅伝にも多くの選手がこの大会より巣立っております。

全国高校駅伝競走大会には、男子は浜松日体高校、女子は常葉菊川高校が出場しました。それぞれ健闘しましたが、全国の厚い壁に阻まれております。

京都で開催された都道府県対抗駅伝の女子は十二年ぶりの入賞で総合八位と健闘しました。一区松岡さん(スズキ)の区間二位に始まり、三区中学生の湯田さんの区間一位の走りで、各選手が自己のペースを守りきり、見事なチームワークで過去最高のタイムで都大路を走り抜きました。距離の短い女子駅伝では前半の好位置がいかに重要かを示したものでありました。その結果、久し振りに女子長距離陣の明るい話題でありました。

表彰関係では、日本陸連関係は、平沼章の望月紘一さん、河野章の太田桂さん、春日章の中村宝子さん、河野一郎章の鈴木郷史さんがそれぞれ受賞されました。お喜び申し上げます。

富士山一周駅伝については三年越しに

山梨県・山梨陸協と静岡県・静岡陸協と話し合いを続けておりますが、期日・距離・参加対象等で意見の相違があり継続中であります。

広報活動では、県記者クラブと密接に連携をとり、多くの記事をマスメディアに供給してまいりました。また会報も年二回発行し、静岡陸協のホームページも全国で注目される場所でありました。いずれも担当の委員会に厚く感謝いたしたいと存じます。

おわりに、いよいよ北京オリンピックが近づきました。昨年の大阪世界選手権の日本選手の不振を見るにつけ、大いに心配であります。まず静岡県からも多くの選手の出場を期待したいものであります。女子走幅跳の池田選手、棒高跳の鈴木・笹瀬・川口選手、やり投の村上選手等の出場と活躍を見守りたいと思っております。県体協や陸連でも、オリンピックの視察団を送る計画があるようです。一人でも多くの選手の活躍を応援したいと思います。

あの日あのととき

副会長 深澤通之助

昭和二十九年四月十日・十一日の両日、第二回アジア大会(マニラ)の最終選考会が、明治神宮外苑陸上競技場(現在の国立陸上競技場)で開催された。

青春の総て、いや私にとっては、それまでの人生の総てをかけたの競技会であったと今でも思っている。事実、私がこの選考会で勝利して日本代表に選ばれなかったとしたら、その後の私の競技人、社会人としての人生が、どうなっていた

か、想像できない違った結果になっていたと思える。

あらゆるスポーツで、オリンピックやアジア大会に連続出場(四年に一度)した人達は、誰にも負けない努力や精進をされていることは、言をまたない。そうした人達は並の選手などとは違った天分にも恵まれており、それらを磨き偉業を為し遂げ、後世にその記録や歴史を残している人達ではないかと思っている。

しかし普通の素質だけの選手が与えられた一回だけのチャンスを勝利して、日本代表に選ばれることは至難の業であると思っている。

最近ではオリンピックにしてもアジア大会にしても、さらにさまざまな国際大会などは標準記録とか、他の大会の記録を参考に、候補に選んだり代表として入るケースが多くなっている。

敗戦後の日本は復興期にあり、外貨規制(米国ドル)でスポーツで使うことはきびしく制限されていたので、海外遠征の選手団の編成枠も制限されていた。

今では考えられないが、国内航空は勿論、新幹線すら無かった時代。沼津から東京まで列車で四時間以上、名古屋までは六時間もかかった。ましてや九州、北海道からは三十時間以上かけなければ上京できず、全国から一同に会して競技することは大変であった。

しかしそれだけに「日の丸を胸に日本代表選手に」と、青春の夢と希望の実現に艱難辛苦、如何に努力錬磨したか、当時は本当に真剣であった。

絶え間なく襲うプレッシャー、さまざま

まな誘惑、雑音との闘い、練習による体力の疲労、食べることへの負担、それら総てを克服しなければならなかった。五十数秒間にかけたファイナルラウンドまでの青春の日々を思い出すと今でも胸が熱くなってくる。

(筆者は第二回アジア大会
四百メートル障害日本代表)

県陸協略史(4)

スポーツの再興起爆剤Ⅱスポーツ祭

参与 伊藤英一

昭和二十年八月十五日正午終戦となり翌月九月十日に前田文部大臣が「昭和二十三年ロンドンオリンピックに参加することをスポーツの目標にするのが良からう」と方向性を述べられた。これが戦後初に「スポーツ」という言葉が生まれたのである。(日本は、IOCから除籍されていたのでロンドン大会への参加はできなかった。)

県内では、九月二十六日粟野体育主事(現在の課長)が「スポーツ静岡再興する」と新聞に発表した。内容は、草薙競技場が戦時中の食料増産のため芋畑となっていたのを整備して中等野球の再開という記事であった。

昭和十八年三月二十二日県体育協会は、県学徒体育振興会と県体育会に改組された。

終戦の翌年の昭和二十一年四月二十七日日体育協会が再建され、民間人初の戸塚昌宏氏が会長となった。県体育協会は昭和三十年十月二十四日に創立され、会長は県学務部長(現在の教育長)が就任して

いた。

この県体育協会は昭和二十一年秋の第一回の京阪神国体に参加した(種目Ⅱ陸上・水泳・バスケット・卓球・体操・自転車・相撲・庭球・ボクシング)。米持参でJRの各駅停車であった。

戦争に従軍していたかつての選手が復員したり、軍需工場に動員されていた者がスポーツマンクラブを結成し、当時、人を集めることは占領下では禁止されていたので、この人達が進駐米軍に総合スポーツ大会の開催等を陳情していた。これが認められたので、総合競技会の開催を二月に新聞発表した。この発表の大会名は「静岡県オリンピック」であった。この名称について、日本体育協会からオリンピック名の使用は禁止と助言があり「静岡県スポーツ祭」と改めた。期日は、六月二十八日〜二十九日開催とした。

種目は、①陸上競技②水上競技③野球・女子ソフト④バレーボール(当時Ⅱ排球)⑤バスケットボール(当時Ⅱ籃球)⑥テニス硬・軟(当時Ⅱ庭球)⑦卓球⑧相撲⑨自転車⑩サッカー(当時Ⅱ蹴球)であった。

陸上の運営部員は次の方々である。

陸上競技部長Ⅱ恩田周平

(現在の富士高校教)

同 副部長Ⅱ天野忠司

(現在の静岡商教)

〈部員〉

浅羽 靖・竹原政一・平井行男

藤田純男・生駒定文・式守 正

渥美邦夫・深澤富直・川嶋邦太郎

斎藤美英・渡邊福太郎・池田正司

漆畑 武・福原久恵・松田秋江
稲葉茂男・浦邊秀夫・伊藤菊造
鈴木源右衛門・松島正吉
佐々木利一・川村善六・平川龍夫
山梨大三・佐藤 隆・武藤日出夫
古屋一郎・稲葉松彦・小淵 瞳
松下善次・望月康江・豊田秀之助
高木 甫・上田勇吉・鈴木常雄
鈴木 正・渡邊忠義・浅倉正司
風間 實・小長井喜作・鈴木 武
松永正男・古橋英松・渥美良教
鈴木与三郎・宮坂謙吉・杉山 繁
近藤忠雄・清水孝太郎・牧田憲司
有田寿雄・斎藤 磯・金原 勇
中村敏男・大石 正・小笠原 正
和田 明・竹田昌平・浅井正義
川崎愛太郎・岩崎 昇・岩山 勝
森島勝男・望月喜一郎・袴田修一
坂田利通・鈴木一之・碓井 吉
田代秀三・杉田石太郎・西尾 淳
澤瀧利夫・川島幸太郎・深澤 潔
勝又祐一・山本朔太郎・山崎光男
小長井文夫・石原克郎・有本小秀
小笠原正彦・藤田寿子・手塚さん

この方々が戦後陸上競技の先駆者であり、既に鬼籍に入られた方々が残念ながら多くみられます。

スポーツ祭は、入場料をとり運営されていた。第一回の県費委託料は、十一万六千円であった。

草薙陸上競技場での観覧者数は五千人であったと報道され、当時第一級の往年選手の活躍に絶大な拍手を送っていた。

昭和二十九年度第八回より郡市対抗とし、昭和三十四年より知事杯の交付を受け市対抗・町村対抗となった。この大会

の優勝メダルは、王冠をデザインしたもので、某洋装学院より譲ってくれという申し込みがあったほどである。

このスポーツ祭も平成十八年の第六十回大会をもって惜しまれつつ終結となったが、本県スポーツの振興及び普及、特に大衆化に多大な功績を果たしたことは特筆大書し留めおく事項である。

第一回の審判員組織表は「富士に競う昭61・4・26」に記載されているので省く。

第一回陸上優勝者は次の通り。

〈男子〉

百メートル	大橋敏宏(見付中)	11秒2
二百メートル	佐々木利一(興誠中教)	24秒0
四百メートル	佐々木利一(興誠中教)	53秒8
八百メートル	大館義夫(国産電気)	2分8秒4
千五百メートル	赤堀政雄(江南倶)	4分31秒2
五千メートル	浅倉茂(長泉競歩会)	16分42秒0
一万メートル	渡辺利夫(井出鉄工)	36分25秒6
八百メートルリレー	見付中	1分41秒3
走高跳	荒川武男(静師OB)	1m80
棒高跳	和田 明(早大OB)	3m71
走幅跳	鈴木豊彦(下田教)	6m71
三段跳	森島勝男(大仁中教)	14m30
砲丸投	小長井文夫(静岡工教)	13m41
円盤投	鈴木 昇(沼商OB)	35m67
〈女子〉		
百メートル	渡辺世知子(富士宮高女)	13秒6
二百メートル	渡辺世知子(富士宮高女)	29秒8
四百メートルリレー	沼津高女	55秒8
走高跳	内山千鶴(二俣高女)	1m37
走幅跳	大杉房江(見付高女)	4m49
砲丸投	佐口みつる(二俣高女)	8m72
円盤投	佐口みつる(二俣高女)	28m56

理事会・専門委員長会議開催報告

平成十九年度、理事・専門委員長会議が、十二月十四日（金）ホテルアソシア静岡で開催された。深澤副会長の挨拶に続き亀山理事長から後期事業報告があり、また会議については次の議題が話し合われた。

一「報告事項」

- ・第六二回国民体育大会（秋田大会）
- ・第二二回東日本女子駅伝大会
- ・第八回県市町村駅伝競争大会
- ・顕彰委員会関係について
- ・平成十九年度新記録公認申請大会について
- ・第二三回静岡国際陸上会計および監査報告

二「審議事項」

- ・都道府県対抗駅伝選手役員選考
- ・平成二十年行事（大会）について
- ・協会規約改正について
- ・第二四回静岡国際陸上大会規模、種目決定について
- ・協会ポロシャツおよび帽子新調について
- ・審判講習会の在り方について



支部便り

東 部

東部支部理事長 勝又瑛逸

平成十九年度の東部支部主催・主管のトラックの各大会は、それぞれの大会を後援してくださる各団体と、各地域陸協、審判員各位のご理解と、ご協力のおかげをもちまして全てを終了いたしました。心中よりお礼を申しあげます。ただ残念なことはその中の大会で、投擲されたハンマーが、審判員の一人に当たると大変な事故が発生してしまいました。幸いにして大事に至らず軽傷で済み、当事者も次の大会に元気な顔を出してくれました。

今後、このような事故が起きないように万全の注意を払うと共に、安全施設をより安全なものに改善して戴くように、競技場を管理している自治体をお願いをしていきたいと思っております。

競技面では、高校総体県体大会で、三島北高が、総合優勝をして気を吐いた。七月には、全国小学生大会で沼津陸上の杉山梓さんが、五年の部百メートルで、13秒62で優勝し、十月の日体大長距離競技会で富士岡中の湯田佐枝子さんが、三千メートルを、9分24秒29で走り、この記録は、全国ジュニアランキングの一位、県中学新記録となりました。

十二月に山口県で行われた全国中学駅伝には、御殿場市立富士岡中が男女共出場し、女子四区で、新村芽依さんが区間記録を出すなどの活躍で、輝く優勝を飾

りました。男子は、二区の勝亦祐太君が区間記録を出したが、惜しくも八位との差僅か2秒で九位となり入賞を逃しました。この悔しさを来年に繋げてもらいたい。

大会運営面では、昨年から本格的に導入したコンピュータによる記録処理は、県・東部の情報システム委員会のメンバーの努力で順調に行われています。特に、東部の小池委員には愛鷹、御殿場、裾野、富士と四つある競技場の殆どの大会の記録処理に尽力して戴き、感謝しています。

昨年からの課題となっている愛鷹競技場の電光掲示板使用については、まだ解決しなければならぬ問題が残っており、引き続きその解決に努力したいと思います。また、東部陸上競技協会のホームページを開設し、東部支部が主催・主管する大会の情報を発信しています。このページから、静岡陸上競技協会ホームページ、記録委員会ホームページ、中部支部ホームページ、東部高体連陸上競技部ホームページにリンク出来るようになっていきますので是非ご利用ください。

強化・普及面では、今年の国体の好成绩は、高校生の活躍がその原動力となっており改めて普及・強化の必要性が明確になりました。そのことから昨年から立ち上げた強化・普及のための援助は不可欠であり、微力ながら継続してゆく事が大事で有ると考えています。

末筆になりましたが、昨年の年末に、前東部支部理事長の松本敬治氏が逝去され、今年もこの年末に、県東部代表理事の佐藤光司氏が逝去されました。松本氏

は、協会に対する功績と、選手育成に多大な貢献をされました。佐藤氏も、他に先駆けて沼津陸上少年団を立ち上げ、杉本龍男氏などのオリンピック選手を育て、全国小学生大会の四百メートルで、男女アベック優勝するなど普及・強化に情熱を注ぎました。お二方とも御苦勞様でした。ご冥福をお祈りします。

中 部

中部支部理事長 大塩正則

「七十四年ぶりの最高気温更新」昨年の夏季は異常な暑さの中、会員の皆様には各競技会での審判業務にご協力いただき感謝申し上げます。本当にご苦勞様でした。中部地区の選手の皆さんの活躍には素晴らしいものがありました。七月二十八日から大阪長居陸上競技場で開催された第二十三回全国小学生交流大会において、女子四百メートルで清水ミズノSCチーム（松本・小笠原・清水・森）が51秒84の好記録で走り、見事な優勝でした。静岡勢として四回目の頂点に立ちました。全国高校総体では藤枝明誠高校が四百メートル（天野・羽根・梗田・飯塚）で41秒42で第七位、全国高校定通制大会で榛原高校の門田美郷さんが四百メートルで優勝、八百メートルで入賞しました。八月二十一日から宮城県で開催された第三十四回全日本中学校陸上競技大会で、長田西中学の小林冬也君が棒高跳で4m55を跳んで見事な優勝でした。

全国大会等で活躍された選手、指導者の皆様に敬意を表すとともに、ご支援頂いた関係者に心から感謝申し上げます。

す。三月には駿府マラソン、四月には日本平桜マラソン、焼津港マラソン等が開催されます。新しい年が、更なる前進になるよう会員の皆様とともに中部陸上競技協会も進みたいと存じます。

西 部

西部支部理事長 和田隆保

二〇〇七年の西部は元気があった。全国高校総体で浜松市立高等学校が男子総合優勝、男子棒高跳で笹瀬弘樹君が5m41の高校新記録を樹立し優勝、千六百メートルも一位を獲得し初優勝に花を添えた。また全国中学総体での小栗良太君(浜松・北浜東部中学)の男子四百メートル勝をはじめ多数入賞者を出した。また団体秋田大会において池田久美子さん(走幅跳・スズキ)・笹瀬君の優勝、その他多数の西部勢が活躍し、久し振りに本県天皇杯二位・皇后杯三位に貢献した。県高校駅伝では男子が浜松日体高校、女子は常葉菊川高校がそれぞれ優勝し都大路へ。また中部実業団駅伝はスズキが好記録で優勝し、元旦開催の全日本実業団駅伝に駒を進めた。次に第八回県市町村対抗駅伝では市の部で浜松市が一位・三位・四位、町村の部で新居町が初優勝し西部の圧倒的な強さを印象づけた。このように西部勢大活躍の年であった。

今後これもこれに驕ることなく、小学生から一般まで連携をさらに密にし精進したい。また選手指導・競技運営等にご協力いただいた会員の皆様には深い敬意を表し、厚く御礼を申し上げます。

二〇〇八年はオリンピックイヤーであ

る。大阪世界陸上大会出場の池田さん、村上幸史君(やり投・スズキ)には昨年の経験を生かし、北京での活躍を期待したい。

各委員会便り

総務委員会

平成十九年度総務委員会の変更、追加した点、登録・顕彰について。

○静岡陸協登録について

一、昨年までの個人登記・団体登録を本年度から個人登録・団体登録に変更。

二、団体登録について

昨年までは十人以上でしたが、本年度から五〜九人と十人以上に分けて登録を受付。登録料は以下の計算式となる。

五〜九人 団体登録料 一万円 + 人数 × 二千元

十人以上 団体登録料 二万円 + 人数 × 二千元

三、中学生・高校生については、中体連・高体連登録と、クラブ登録の二重登録を認める。中学生・高校生のクラブ登録料は千円で静岡陸協事務局で受付。

○静岡陸協顕彰規程について

表彰(A)に優秀選手賞(I)と優秀選手賞(II)を追加。

本年度から「全国小学生交流大会」で三位までに入賞した選手を、小学生の優秀選手賞(II)として表彰することが追加された。その年の静岡県小学生選手権で表彰。

○平成十九年度静岡陸上競技協会優秀選

手賞(II) 該当受賞者
杉山 梓 (沼津陸上)
女子五年 百射 13秒62 優勝
鈴木杏実 (浜松可輪AC)
女子五・六年 八十射障害 12秒72 優勝
松本沙耶子・小笠原彩乃・清水真帆・森 久留美(清水ミズノSC)
女子五・六年 四百射リレー 51秒84 優勝
(総務委員長 仁科仁郎)

競技委員会

十九年度事業につきましては、県陸協主催・共催・主管事業(四十件)は、第六十二回県選手権大会が台風四号の接近により悪天候となり、第二日目が一日順延となり、予定されていた国体予選会が中止になったことを除けば、東海高校総体などビックイイベントをはじめ暦年事業は関係団体および協会会員のご協力により、滞りなく終了しましたことに、厚く御礼申し上げます。

さて、二十年度は北京オリンピックを控えて、日本陸連では代表選考に重きが置かれた大会が計画されており、熱く燃えるシーズンとなりそうである。県陸協事業も日本陸連の要請を受けて、春季グランドプリンスシリーズ第四戦の第二十四回静岡国際陸上は会場を「静岡スタジアムエコーパ」に移し、主に短距離および長距離のオリンピック参加標準記録に挑戦する重要な位置づけとした大会を期待されている。日本のトップアスリートの参加をはじめ国外トップアスリートとの接戦でシーズンの幕開けとなるほか、今年度は

暦年事業に加え「第三十回東海中学選手権大会・第五十一回東海選手権大会・東海高専選手権大会・全国国公立大学対抗選手権大会」など新規大会が入り、相当過密な運営となり、関係の皆様には例年になく、ご協力をお願いするところがございます。以下主な大会をご紹介します。

4月6日(日)日本平桜マラソン(草薨)
4月27日(日)静岡リレーカーニバル(草薨)
5月3日(土)祝 第二十四回静岡国際陸上(エコパ)
5月30日(金)6月1日(日)県高校総体(エコパ)
6月15日(日)小学生交流大会(草薨)
7月5日(土)6月(日)第四十六回東海地区高専大会(愛鷹)
7月5日(土)中学選抜大会(草薨)
7月12日(土)13日(日)県選手権(草薨)
7月19日(日)中学通信陸上(草薨)
8月3日(日)県ジュニアクラブ選手権(草薨)
8月9日(土)第三十回東海中学陸上(草薨)
8月17日(日)第八回富士山クロスカントリー大会(子供の国)
8月30日(土)31日(日)第五十一回東海選手権(草薨)
8月30日(土)県ジュニアオリンピック(浜松)
9月26日(金)28日(日)全国国公立大学対抗陸上(草薨)
10月4日(土)5日(日)県高校新人陸上(草薨)
10月11日(土)県中学生新人陸上(草薨)
10月19日(日)小学生選手権(草薨)
11月2日(日)県男女高校駅伝(エコパ)
11月3日(月)祝 第二十七回浜松中日カーニバル(浜松)
11月15日(土)県中学駅伝(エコパ)
12月6日(土)第九回県市町村駅伝(県庁)
2月15日(日)浜名湖一周駅伝(館山寺)
2月22日(日)浜松シテイマラソン(浜松)
3月15日(日)静岡駿府マラソン(駿府公園)

その他、県事業十五件および支部事業七十件が県下九会場で行われますので関係者のご協力をお願い致します。

審判委員会

(競技委員長 加藤 崧)

前号に引続き審判委員会の活動を紹介させて頂いたと思います。

- 一、競技会委員の業務を簡単に述べますと
理及び旅費・日当の支払い。
- 二、競技規則の周知徹底をはかること。
- 三、審判員の昇格に関すること。

まず、競技会の二〜三週間ほど前に、プログラムを作成するための会議が競技部の方々を中心にして開催されます。このプログラム編成が終了しますとその原稿が印刷屋にまわりますので、その競技会の役員編成がこの会議までに完了していなければなりません。この作業はまず、審判員の皆様から提出された登録票にある予定表から応諾のあった方(○印の付いている)をリストアップすることから始まります。ここでまず、私どもが留意することは、競技会運営のために各部署の人数が足りているか、予算内で運営できるかの二点です。審判員の方々の希望通りにならないことがあるのは、この点によるものが多くあります。

各支部(東部、中部、西部)陸協主催の競技会は比較的スムーズに編成できるのですが、県大会レベルの競技会では(大会によってですが)部署によっては審判員が足りず、応諾のない方に依頼す

ることもしばしばです。これとは逆に、審判数が多すぎて予算内におさまらず依頼をしないこともあります。審判員が足りない競技会は、市町村駅伝、県小学生陸上、県ジュニアクラブ選手権、マスターズ、障害者スポーツ大会などで、逆に応諾の多い競技会は、県選手権、高校総体県大会、国際陸上などです。

これまで述べた事柄で、二点ほど審判員の皆様にお願したい事があります。一点目は、登録票中の希望審判部署欄の記載を確実にしていただきたいこと、二点目は、依頼状が届いた後の欠席の場合は、連絡を確実にしていただきたいことです。宜しくお願致します。

これらの業務が終了し、競技会当日を迎えます。どの競技会でも役員集合時刻の一時前には審判委員会のメンバーが受付業務に着いています。審判の方々はこの受付に審判員手帳を提出しプログラムを受領することからその任務が始まります。この後に役員係は、出欠の管理、不足部署への手配、旅費・日当の経理、弁当の配布、手帳への押印等の業務を行います。高体連、中体連共催の競技会では旅費・日当の領収書が必要な場合があります。その旨は依頼状に必ず記載されていますので印鑑をご用意下さい。

審判員手帳を忘れたり、受け取らずにお帰りになる方が時折みられます。審判委員会の業務、現在のシステムをご理解いただき、審判員手帳を大切に扱っていただきたいと思えます。この続きは、次号にまわしたいと思います。平成二十年度もご協力を宜しくお願致します。

(審判委員長 草野康二)

強化委員会

◎第六十二回国民体育大会(秋田) 結果

天皇杯 二位 一〇五・五五
皇后杯 三位 五五五
(入賞者)

成年男子

三千円障害 中川智博(スズキ) 二位

棒高跳 鈴木崇文(東海大学) 二位

少年男子A

百円 羽根聖也(藤枝明誠) 六位

四百円 渡邊 諒(浜松市立) 四位

四百円障害 渡邊 諒(浜松市立) 三位

棒高跳 笹瀬弘樹(浜松市立) 優勝

三段跳 松下 元(引佐) 八位

少年男子共通

走高跳 小野田学登(修善寺工) 三位

少年男子B

二百円 飯塚翔太(藤枝明誠) 優勝

成年女子

五千円 松岡範子(スズキ) 五位

百円障害 金子紗織(河合楽器) 六位

走幅跳 池田久美子(スズキ) 優勝

砲丸投 美濃部貴衣(筑波大学) 二位

少年女子A

百円 佐野布由実(富士見) 六位

四百円 鈴木千夏(三島北) 六位

千五百円 三郷実沙希(常葉菊川) 五位

少年女子共通

棒高跳 尾上裕香(磐田農) 三位

走高跳 大城彩貴(浜松商) 六位

砲丸投 竹山知佳(浜松湖南) 四位

選手決定から本大会までの日数が少な

かったが、三回の合宿を通じ選手・コー

チとの間で信頼関係が生まれ、良いム

ードで大会を迎えることができた。さら

に

初日笹瀬君の棒高跳の優勝からチームに勢いが付き優勝者三人、入賞者十六人と昨年を大きく上回る結果を残す事ができた。また本年度は特に高校生の活躍が目立ち、天皇杯得点二位、皇后杯得点三位という成績を取ることができました。多くの人達の御協力・応援ありがとうございました。

(強化委員長 新聞一夫)

普及委員会

本年度新たに、静岡陸上競技協会規約「顕彰規程」の、小学生に対する奨励を意味する表彰が承認されました。これも、本年度で二十三回となる、全国小学生陸上競技交流大会において、優秀な成果を納め、中・高校生となっても活躍を続けるジュニア層の存在が認められた結果だと確信いたします。

(指導者講習会の報告)

第十六回全国小学生陸上競技指導者中央研修会へ二名派遣。

◎研修内容の紹介

〔理論〕①小学生のスポーツと栄養 ②

小学生の持久走 ③指導者から見た小学

生の心理とスポーツ指導 ④小学生のス

ポーツ傷害とその予防 ⑤小学生の陸上

競技指導

〔実技〕①陸上競技の基本 ②ハードル

走 ③投運動 ④跳躍運動 ⑤短距離走

と豊富な内容で実施されました。この中

央研修会での内容と関連をもつ、日本陸

連普及委員会が実施している「小学生陸

上競技教室」が十一月二十五日(日)草

薙で行われました。

〔小学生陸上競技教室の報告〕
 参加者数 小学生百六名・指導者四十名
 〔実技〕①「基本の運動・動きづくり」

（講師・長澤仁志）
 ②「短距離走」（講師・二瓶秀子）
 「跳躍運動」（講師・宇野一茂）
 〔講義〕

指導者・保護者対象
 「スポーツ心理学」（講師・落合 優）
 指導方法等で悩まれる指導者の方々も
 このような機会を利用し、指導の方向性
 を掴み、指導法の再確認、確立をして頂
 き、底辺拡大と指導者の増員等に協力
 を頂ければ幸いです。
 （普及委員長 石野吟策）

情報システム委員会

平成十七年の静岡新聞に、草薙陸上競
 技場での中学の競技会にも電光掲示板を
 使用して結果等を表示して欲しいとの投
 書があった。その後、中体連陸上競技部
 から依頼があり、平成十八年度は七月の
 県中学通信の一競技会で電光掲示板を使
 用し、平成十九年度は七月の県中学選抜
 県中学通信、八月の県ジュニアクラブ、
 県ジュニアオリンピック、十月の県中学
 新人の五競技会で電光掲示板を使用し、
 好評を得た。使用するに当り、印刷会社
 よりデータの提供を受けることによって
 スムーズな準備作業を行うことができ、
 当日は記録員、写真判定員、アナウンサ
 ーに多大な協力をいただいた。
 しかし、草薙陸上競技場に設備されて
 いる電光掲示板に連動する陸上競技運営
 用コンピュータシステムが、順調に使用

でき故障や寿命でもないのにもかかわら
 ず、平成十七年度に突然使い勝手の悪い
 ものに変えられてしまった。そのままでは
 県民の期待に答えられないので、情報
 システム委員会は、静岡陸上競技協会の
 各部門の協力を得て、電光掲示板にスタ
 ートリストや結果、さらに連絡事項等も
 簡易に、しかも迅速に表示できるように
 工夫した。
 今後は平成二年に導入されたままの電
 光掲示板を制御するコンピュータの更新
 と、使いやすい陸上競技運営用コンピュ
 ータシステムへ戻すことを、各方面に要
 望していきたいと考えている。
 （情報システム委員長 永田勝久）

広報委員会

○三月下旬、県内各報道機関に協会要覧
 大会日程送付。
 ○第二十三回静岡国際陸上競技大会、外
 国日本選手団資料各社提供。
 ・大会当日取材関係者一五五名。
 ○日本陸連時報（陸上マガジン）「陸協
 ニュース」原稿提供、年四回。
 （五・八・十一・二月号）
 ○陸協会報二回発行
 ・第三号 平成十九年九月一日
 ・第四号 平成二十年三月二十三日
 ○県陸協主要大会（県・東海関係）報道
 関係者取材状況、四月～十二月の間、
 二八七名（昨年度二〇七名）
 ・県市町村関係者四十名。
 名、市町広報関係者四十名。
 ○県大会取材活動（四月～十二月）
 （広報委員長 橋本美智夫）

（記録委員長 赤堀順一）

記録委員会

平成19年度に樹立した新記録・タイ記録を紹介します。なお、最新ランキング30傑、東海記録、県記録、主な大会結果等は、静岡陸協記録委員会ホームページにて御覧いただけ
<http://www2.wbs.ne.jp/~akahori/t&f>

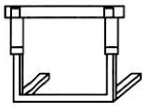
【一般男子】									
・県新記録									
10000 m	28' 10"68	清水 大輔	スズキ	12/ 2	日体大長距離競技会	日体大健志台			
【一般女子】									
・東海新記録									
100 m H	13"02(+1.4)	池田久美子	スズキ	4/29	織田記念国際	広島広域			
・県新記録									
100 m H	13"02(+1.4)	池田久美子	スズキ	4/29	織田記念国際	広島広域			
棒高跳	3m61	尾上 裕香	磐田農高	7/16	県選手権	草薙			
棒高跳	3m70	尾上 裕香	磐田農高	9/ 8	東海選手権	伊勢			
棒高跳	3m75	尾上 裕香	磐田農高	10/14	西部月例競技会	浜松			
棒高跳	3m80	尾上 裕香	磐田農高	11/ 3	浜松中日カーニバル	浜松			
・県タイ記録									
棒高跳	3m60	尾上 裕香	磐田農高	6/29	日本選手権	長居			
【高校男子】									
・日本高校新記録									
棒高跳	5m41	笹瀬 弘樹	浜松市立	8/ 5	全国高校総体	佐賀			
・東海高校新記録									
棒高跳	5m41	笹瀬 弘樹	浜松市立	8/ 5	全国高校総体	佐賀			
八種競技 (砲丸6kg)	5403点	若井 薫浩	三島北	11/10-11	東部高校混成競技会	沼津			
・県高校新記録									
400 m H	51"33	渡邊 諒	浜松市立	8/ 4	全国高校総体	佐賀			
棒高跳	5m41	笹瀬 弘樹	浜松市立	8/ 5	全国高校総体	佐賀			
八種競技 (砲丸6kg)	5403点	若井 薫浩	三島北	11/10-11	東部高校混成競技会	沼津			
【高校女子】									
・東海高校タイ記録									
棒高跳	3m80	尾上 裕香	磐田農	11/ 3	浜松中日カーニバル	浜松			
・県高校新記録									
棒高跳 (高校最高)	3m61	尾上 裕香	磐田農	7/16	県選手権	草薙			
棒高跳 (高校最高)	3m70	尾上 裕香	磐田農	9/ 8	東海選手権	伊勢			
棒高跳 (最高記録)	3m75	尾上 裕香	磐田農	10/14	西部月例競技会	浜松			
棒高跳 (最高記録)	3m80	尾上 裕香	磐田農	11/ 3	浜松中日カーニバル	浜松			
【県高校タイ記録】									
棒高跳 (高校最高)	3m60	尾上 裕香	磐田農高	6/29	日本選手権	長居			
【県中学新記録】									
円盤投 (1.0kg中学最高)	48m75	成瀬 千春	浜松三方原	3/31	奈良県北和記録会	鴻ノ池			
4×400m R (混：中学最高)	3' 21"88	山下・小栗 田島・大石	静岡県 中学選抜	11/23	東大阪市 11月記録会	金岡			
【中学男子】									
・中学日本記録									
4×400m R	3' 21"88	山下・小栗 田島・大石	静岡県 中学選抜	11/23	東大阪市 11月記録会	金岡			
・中学東海新記録									
4×400m R (混：中学最高)	3' 21"88	山下・小栗 田島・大石	静岡県 中学選抜	11/23	東大阪市 11月記録会	金岡			
【県中学新記録】									
4×400m R (混：中学最高)	3' 21"88	山下・小栗 田島・大石	静岡県 中学選抜	11/23	東大阪市 11月記録会	金岡			
【中学女子】									
・東海中学新記録									
棒高跳 (中学最高)	3m51	小田嶋怜美	浜松天竜	7/ 7	県中学選抜	草薙			
棒高跳 (中学最高)	3m52	小田嶋怜美	浜松天竜	10/ 6	県中学新人	草薙			
・県中学新記録									
棒高跳 (中学最高)	3m51	小田嶋怜美	浜松天竜	7/ 7	県中学選抜	草薙			
棒高跳 (中学最高)	3m52	小田嶋怜美	浜松天竜	10/ 6	県中学新人	草薙			
3000 m	9' 29"21	湯田佐枝子	御殿場富士岡	10/21	日体大長距離競技会	日体大健志台			
【小学生男子】									
・県小学生新記録									
走幅跳	5m54(+1.5)	土屋 裕輝	中伊豆AC	10/14	県小学生選手権	草薙			
【小学生女子】									
・県小学生新記録									
800 m	2' 24"97	古瀬 凧沙	長泉陸上	10/14	県小学生選手権	草薙			
800 m	2' 23"06	清水 真帆	清水ミス/SC	10/21	三島市記録会	日大三島			

スポーツ科学委員会

当委員会が発足して九年が経過しました。主な活動は、大会時における選手のケアが中心です。この方たちは日本陸上競技連盟トレーナー認定者です。現在多くの選手・指導者からも支持をうけ大会時にトレーナールームを尋ねて来る選手たちも年々増加しています。陸上競技にはいろいろな種目があり、傷害を受けやすい部位も当然違います。選手の中にはなぜ傷害が起きたのか、今後どのような選手生活を送ったら良いか分かっていない選手も少なくありません。選手が大きな目標を目指し高いレベルに到達するためには常にコンディショニングを整えておくことが必要です。練習の内容や質の問題だけでなくメンタル面・栄養問題、更に日常における生活リズム等の必要性が求められます。現在、東・中・西の各支部にスポーツ科学委員会が設置してあります。二〇〇八年度からは各地区大会にトレーナー要請があれば、トレーナー派遣をしていきたいと考えています。またスポーツ傷害や傷害のメカニズム・予防法等についての講習会にも対応します。

日本陸上競技連盟(トレーナー部門)ではトレーナー育成の認定講習会も開催しています。この認定試験に合格すればC級ライセンス取得となります。関心のある方は当委員会までご一報下さい。

(スポーツ科学委員長 高田 均)



高体連陸上競技部

一年を振り返って

平成十九年度は、東海高校総体、東海高校駅伝が本県で開催されました。静岡陸協の皆様方のご協力により、大きなトラブルもなく無事両大会が行われたことを心より御礼申し上げます。

その東海総体では、男子が延べ三十二人とリレー四チーム、女子は延べ三十五人とリレー四チームが全国大会へと駒を進めました。そして佐賀総体では、台風により日程が大幅に変更し、前代未聞の大会となりましたが、選手たちは大いに頑張り、男子は七人とリレー二チーム、女子は延べ四人とリレー二チームが入賞しました。中でも杉井将彦監督率いる浜松市立高校が、高校・大会新記録で棒高跳二連覇を果たした笹瀬弘樹君を含む二つの優勝と、三つの入賞で男子総合優勝を飾ったのは大きなことでした。男女共学三年目にしての快挙、また、平成七年の鳥取大会で浜松商業が総合優勝して以来のことで、当時も杉井監督であり素晴らしい業績となりました。また、都道府県別得点でも、男子が三位(昨年六位)、女子は七位(昨年八位)と静岡復活の兆しが見えてきた大会となりました。

東海新人大会は岐阜で行われ、本年度より八位までが入賞となり、入賞率は男子は愛知が三十四%で静岡は二十六%と続き、女子は四十%を占め、愛知が三十五%で続いています。男子の落ち込みが大きいので、この冬の強化が望まれます。

また、十九年最後を飾る全国高校駅伝では、男子浜松日体(三年ぶり三回目)、

女子常葉菊川(初出場)が都大路を走りました。

(高体連専門委員長 綾部信明)

中体連陸上競技部

大会を振り返って

第三十四回全日本中学校陸上競技選手権大会は『みちのくの緑に映る華になれ』のスローガンのもと、八月二十一日から三日間、宮城スタジアムにおいて開催されました。大会参加選手数は一七七八名と昨年より三百名ほど増え過去最高の人数となりました。本県からは男子四十四名、女子四十名が参加し、兵庫県、千葉県、埼玉県に続き四番目の多さでした。

大会期間中の天候は、一日目が猛暑、二日目が雨と強風、三日目が曇りと、三日間とも安定しませんでした。そのため選手や監督は、体調の維持や競技の組み立てなどでの的確な判断が要求されました。この様な中で、棒高跳で小林柊也君(長田西)、四百メートルで小栗良太君(北浜東部)の二名が見事優勝を為し遂げました。他にも、男子では四百メートルで大石真巧君(富士田子浦)が五位、走幅跳で伊藤海君(三ヶ日)が三位、女子では、二百メートルで奥野由布子さん(三島南)が五位、千五百メートルで湯田佐枝子さん(御殿場富士岡)が七位に入賞しました。残念ながら満足いく結果をだせなかった選手もいましたが、あこがれの全国大会に出場し、一杯がんばられた経験はきつと、今後の競技に生きていくと思います。

中学生のうち一つの全国大会でもある第三十八回ジュニアオリンピックが、十

月二十六日から三日間、横浜の日産スタジアムで開催されました。この大会では、男子Aクラス(中三)四百メートルで全中に引き続き小栗良太君(北浜東部)が優勝、大石真巧君(富士田子浦)が二位、山下永吉君(河津)が七位、八百メートルで川口大毅君(函南)が五位、砲丸投で鈴木択実君(丸塚)が七位、Bクラス(中二)千五百メートルで勝亦祐太君(御殿場富士岡)が二位、走幅跳で松原奨君(静岡東)が四位、Cクラス(中一)百メートルで久松巧君(吉原二)が六位、女子Aクラス二百メートルで奥野由布子さん(三島南)が三位、三千メートルで湯田佐枝子さん(御殿場富士岡)が優勝、走高跳で小沢伶奈さん(入野)が八位、Bクラス百メートルで和田なつみさん(岳陽)が四位、砲丸投で鈴木綾乃さん(天竜)が三位、Cクラス百メートルで高山真奈奈さん(清水ミズノSC)が三位、百メートルで小沢沙里花さん(浜松西高中)が優勝、走幅跳で加福紗彩さん(清水ミズノSC)が五位、砲丸投で佐藤真緒さん(天竜)が二位、A Bクラス円盤投で増田悠里さん(下田)が八位、ジャベリックスローで金原莉沙さん(袋井南)が大会新で優勝、女子選抜リレー(高山さん、滝井さん、奥野さん、清水さん)が五位に入賞しました。入賞者が大勢出てよかったです。

十二月十五日には山口県セミナーパークにて第十五回全国中学駅伝競走大会が開催されました。御殿場富士岡中学校が男子で九位、女子では優勝という大変素晴らしい結果を残してくれました。

中学校の部活動の現状は、教育課程外の活動のため、日々の練習時間が満足に

確保できなかったり、指導が行き届かなかったりする厳しい現状にあります。そのような中で、我々指導者が「陸上王国静岡」の復活を目指し、協力し合いながら一人でも多くの優秀な選手を育てることができればよいと思います。

(中体連部長 高山 登)

県市町村対抗駅伝競走大会

〓優勝チーム〓

〇浜松中央(市の部) 2時間15分20秒

〇新居町(町の部) 2時間19分36秒

昨年十二月一日、第八回県市町村対抗駅伝大会が開催された。今回は県内全四十二市町から四十六チームが参加し熱戦がくりひろげられた。穏やかな師走の街を五〇六名の選手が一本のタスキに夢をのせ、それぞれ地元の大応援をうけながら力走した。区間新記録は市部で三、町部で一つ生まれた。

全国中学駅伝、初優勝 御殿場富士岡中女子

第十五回全国中学駅伝大会(十二月十五日)が山口県セミナーパーククロスカントリーコース(男女各四十八チーム。男子六区間十八キロ。女子五区間十二キロ)で開催された。三年連続三度目の出場を果たしている御殿場富士岡中女子チームが40分40秒の記録で初優勝に輝いた。また男子同校チームは初出場ながら記録58分9秒で九位と大健闘した。

二〇〇七世界陸上大阪大会

視察報告(感想文より)

〇三島北高等学校 鈴木千夏

いつもテレビで見えていた世界陸上を今回自分の目で見る事ができ、テレビでは味わうことのできない体験をすることができました。まず大会の雰囲気です。私は全国総体に出場しましたがそれとは全く違う雰囲気を感じました。また選手が競技を楽しんでいるなど思いました。レースの前後を見ていると選手たちは皆笑顔でした。自分の力を出しきった充実感ではないでしょうか。でもその笑顔のうしろには多くの苦労やプレッシャーがあり決して楽な道ではなかったと思います。選手たちはそんな苦難を乗り越えてきたからこそあんなに沢山の観衆を感動させるパフォーマンスができるんだなと思いました。世界陸上でトップに立ち競う選手と私の違いは、レベルは勿論のこと競技に対し取り組む気持ちや全然自分とはかけ離れたところにあったような気がしました。レースを見て感じたことは、闘う選手たちは自信に満ち溢れ、攻める姿勢がスタンドで観戦している私にも届いてきました。私はこの大会で学んだことを今後の競技生活に生かしていきたいと思っています。

〇浜松市立高等学校 笹瀬弘樹

今回は貴重な体験をしました。自分自身は世界陸上選手権を目標に頑張ってきましたが出場できず悔しかったが、スタンドから観戦し世界大会の雰囲気を感じることができました。また世界トップレベル

ルの選手の競技を間近にし、レベルの高さに驚きました。午後の部になるとさらに観客が増し歓声の大きさと競技者への声援がいちだんと高まった。僕はこの競技場について身震いがし、ドキドキしながら観戦しました。いつか僕もこのような雰囲気の中で闘えたらいいなと思いました。今回の体験は今後の僕の競技生活に有意義なものになりました。今年の北京オリンピックを目標に頑張ります。今回はありがとうございました。

〇静岡豊田中学校 望月優花

大阪へ世界陸上を見に行かせていただき、大変勉強になりました。大きな競技場の整った環境で思いきり競技している選手を見て幸せな感じがしました。私は女子のハードルのレースを見て速いのにビックリしました。さすが世界で闘う選手はすごいなあと思いました。0秒01の差で勝負は決まります。スタート・中間疾走・フィニッシュと、どれ一つとっても失敗は許されません。最後着差で明暗。陸上ってあらためて甘くないと感じました。またこのような大舞台でどれだけ自分の走りができるかが大切なんだと思いました。私は陸上競技が大好きだし陸上をやって良かったと思っています。これも家族や先生方に助けてもらったからです。だから走れることに感謝し、さまざまな舞台で自分の走りができ、勝てる選手になりたいです。今回このような機会を与えていただき感謝します。

〇下田中学校 金崎真佐美

私は大阪世界陸上が観戦できてとても

良かったと思います。特に自分の専門種目である女子走幅跳が直接見れて大変良い勉強になりました。また男子ハンマー投の室伏選手や走高跳の醍醐選手の世界レベルで闘う姿に感動しました。普段テレビで見ているのとは全然迫力が違うことに驚きました。今回の世界陸上で学んだことを、これから生かして行きたいと思っています。三日間ありがとうございました。

編集後記

会報発行も三年目に入ります。昨年から年二回発行していますが、役員・関係者・報道各社のご協力に感謝します。

陸上界も昨年は世界陸上大阪大会、また今年には北京オリンピックと大きなイベントが続きます。本県出身選手の活躍も期待されているなか、少しでも多くの情報を皆様にお届けしたいと考えています。

〔編集委員〕(広報委員会・陸協事務局)

・橋本美智夫・朝比奈洋子・内田 光英

・矢辺 進・亀山 健士・松井 清和

(印刷) (株) エスケイピー

情報
お寄せ下さい



~Photograph~



(県市町村駅伝大会 開会式)



(県小学生選手権大会)



(種目別大会)

さあ
新シーズンも
頂点目指して
GO



(東海高校駅伝大会)



(県高校駅伝大会)



(世界陸上大阪大会たすきキャラバン)



(県中学大会)



(県高校新人大会)